

「ホワイト物流」推進運動

持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
大日本住友製薬株式会社	代表取締役社長	野村 博	大阪府	製造業	https://www.ds-pharma.co.jp/

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	2020年11月25日
-------	-------------

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組みます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A ①	物流の改善提案と協力	取引先や物流事業者から、荷待ち時間や運転者の手作業での荷卸しの削減、附帯作業の合理化等について要請があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。
2	A ③	パレット等の活用	工場出荷品および物流センター入庫品は、パレット、カゴ台車等を活用し、荷役時間を削減します。
3	A ④	発荷主からの入出荷情報等の事前提供	発荷主として貨物を発送する場合に、物流事業者や着荷主の準備時間を確保するため、目安となる入出荷予定時刻をあらかじめ協議のうえ決定し、入出荷物量などの情報を早めに提供します。
4	A ⑧	出荷に合わせた生産・荷造り等	工場出荷品は、出荷時の順序や荷姿を想定した荷造り等を行い、荷待ち時間を短縮します。物流センター出荷品は、出荷時の順序を想定した荷造り等を行い、荷待ち時間を短縮します。
5	A ⑪	高速道路の利用	物流事業者から、高速道路の利用と料金の負担について相談があった場合は、真摯に協議に応じます。
6	B ①	運送契約の書面化の推進	運送契約の書面化を推進します。また、既存契約において見直しについて相談があった場合は真摯に協議に応じます。
7	C ①	契約の相手方を選定する際の法令遵守状況の考慮	契約する物流事業者を選定する際には、関係法令の遵守状況を考慮します。
8	D ①	荷役作業時の安全対策	荷役作業を行う場合には、労働災害の発生を防止するため、安全な作業手順の明示、安全通路の確保、足場の設置等の対策を講じるとともに、事故が発生した場合の損害賠償責任の明確化を図ります。
9	D ②	異常気象時等の運行の中止・中断等	台風、豪雨、豪雪等の異常気象が発生した際やその発生が見込まれる際には、無理な運送依頼を行いません。また、運転者の安全を確保するため、運行の中止・中断等が必要と物流事業者が判断した場合は、その判断を尊重します。

PR欄	当社は、「人々の健康で豊かな生活のために、研究開発を基盤とした新たな価値の創造により、広く社会に貢献する」ことを企業理念としています。「CSR経営の推進」、「安全操業、安心品質、安定供給の遂行」などの活動方針を基に、「ものづくり」という重要な仕事にやりがいを感じ、自信と誇りを持って業務に取り組んでいます。また、医薬品サプライチェーンに必要な物流パートナー企業との協力体制(Win-Winの関係)を維持し、改善に取り組み、医薬品の安定供給・品質確保に努め社会へ貢献してまいります。
-----	--